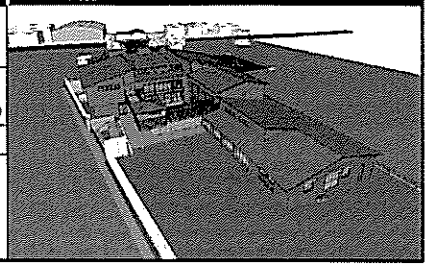
# CASBEE®-建築(新築)　評価結果

■使用評価マニュアル：CASBEE-建築(新築)2016年版　|使用評価ソフト：CASBEE-BD_NC_2016(v4.0)

## 1-1 建物概要

| | | | |
|---|---|---|---|
| 建物名称 | 清仁保育園移転・新築工事 | 階数 | 地上2F |
| 建設地 | 京都府城陽市富野西田部64番1 ｹ | 構造 | 木造 |
| 用途地域 | 地域指定なし、防火地域指定なし | 平均居住人員 | 250 人 |
| 地域区分 | 6地域 | 年間使用時間 | 2,400 時間/年(想定値) |
| 建物用途 | 学校, | 評価の段階 | 実施設計段階評価 |
| 竣工年 | 2022年3月　　予定 | 評価の実施日 | 2021年6月18日 |
| 敷地面積 | 6,215 ㎡ | 作成者 | 北川廣次 |
| 建築面積 | 1,847 ㎡ | 確認日 | 2021年6月25日 |
| 延床面積 | 2,626 ㎡ | 確認者 | 北尾順彦 |

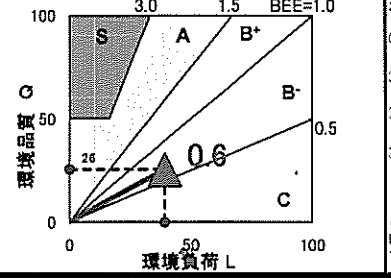
## 1-2 外観



## 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

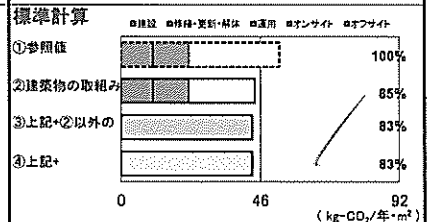
BEE =0.6

S: ★★★★★ A: ★★★★ B+: ★★★ B-: ★★ C: ★



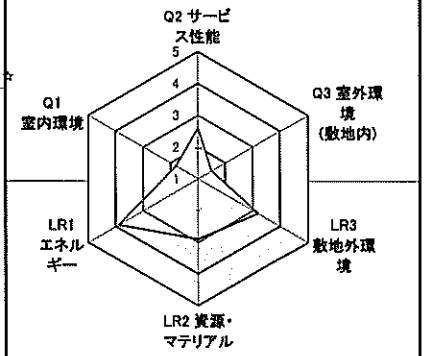

## 2-2 ライフサイクル$CO_2$(温暖化影響)チャート

30% ☆☆☆☆☆ 60% ☆☆☆☆ 80% ☆☆☆ 100% ☆☆ 100%超 ☆




このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物（参照値）と比べたライフサイクルCO2排出量の目安で示したものです

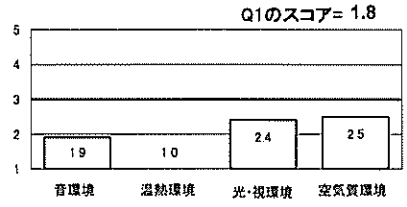
## 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)



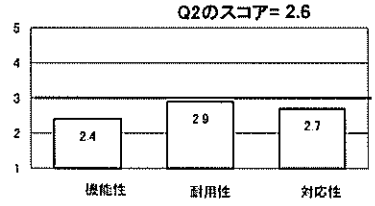

## 2-4 中項目の評価(バーチャート)

### Q 環境品質　　Q のスコア= 2.0

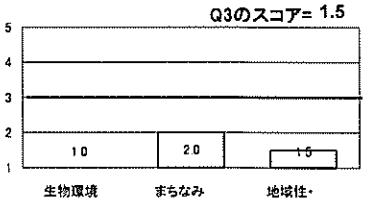
**Q1 室内環境**　Q1のスコア= 1.8




**Q2 サービス性能**　Q2のスコア= 2.6

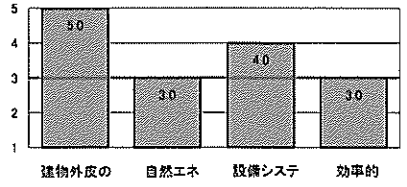



**Q3 室外環境（敷地内）**　Q3のスコア= 1.5

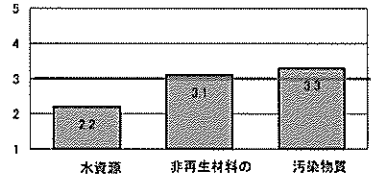



### LR 環境負荷低減性　　LR のスコア= 3.4

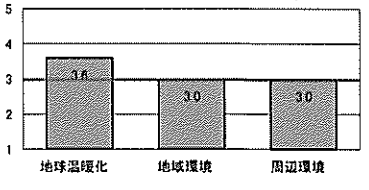
**LR1 エネルギー**　LR1のスコア= 3.9




**LR2 資源・マテリアル**　LR2のスコア= 2.9




**LR3 敷地外環境**　LR3のスコア=3.2




## 3 設計上の配慮事項

| 総合 | その他 |
|---|---|
| 利用者に配慮し、F☆☆☆☆を使用している。主要給排水配管は耐用年数が長い材料を使用している。ライフサイクルコストの低減に努め、地球環境保護に配慮している。 | 特になし。 |

| Q1 室内環境 | Q2 サービス性能 | Q3 室外環境（敷地内） |
|---|---|---|
| 天窓（トップライト）使用している。<br>JIS・JAS規格のF☆☆☆☆をほぼ全面的に採用している。 | 給水 HIVP(B)、排水 VP(B)、給湯 SUS(C)、Eは不使用。<br>0.1≦ [壁長さ比率] <0.3。 | 特になし。 |
| **LR1 エネルギー** | **LR2 資源・マテリアル** | **LR3 敷地外環境** |
| [BPIm] = 0.58。<br>[BEIm] = 0.70。 | ODP=0、GWP=3の発泡剤を用いた断熱材を採用。 | ライフサイクルCO2排出率が、一般的な建物（参照値）に対して83%。 |

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency（建築環境総合性能評価システム）
■Q: Quality（建築物の環境品質）、L: Load（建築物の環境負荷）、LR: Load Reduction（建築物の環境負荷低減性）、BEE: Built Environment Efficiency（建築物の環境効率）
■「ライフサイクル$CO_2$」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
■評価対象のライフサイクル$CO_2$排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される